

例年になく厳しい残暑も落ち着き、やっと秋らしさを感じられるようになってきました。暑い夏の間はなかなか見ることのできなかった公園で遊ぶ子ども達の姿も、やっと戻ってきたようです。補導委員の皆さま方には、積極的に見守りや声かけをしていただき、補導日誌の報告内容にその様子を伺うことができます。今後ともよろしく願いいたします。



第3回補導委員中学校区代表者会 9月4日(月)

【議題及び協議】

1. 補導状況の交流

各中学校区代表から

- ・各地区で、夏祭り等の特別補導を実施した。地域から巡回の依頼があったところもあり、参加可能者で補導活動を行った。
- ・夏祭りの会場で、子ども同士のトラブルがあったと聞いている。補導巡回の時には出会わなかったが、補導活動の重要性を感じた。
- ・新しくオープンしたゲームセンターへの巡回を行った。特に問題はないとのことであった。
- ・今年のような酷暑の中での補導活動は、熱中症への配慮や対策が必要ではないか。



2. 管外研修 10月5日(木)について

参加者の決定、日程の最終確認等を行った。

3. 補導委員交流会 11月10日(金)について

今年度の交流会の実施を決定した。

4. 令和5年度の補導委員の改選について

補導委員の改選対象者、小中校区代表者への協力依頼を確認した。



トピック

スマホデビュー

ある調査によると、初めてスマートフォンを所有する年齢は小学6年生が最多とのこと。10数年前は高校入学時が最多でしたから、ずいぶん早く所有するようになったということになります。

そうなるに気になるのは、スマートフォンによるトラブルです。スマートフォンを持っている子の約2割がトラブルに巻き込まれた経験をしているようです。また、トラブルは年々増加傾向にあるということで、「安心して持たせられる」という状況ではありません。

また、警察庁が発表した2022年全国の児童ポルノ事件摘発件数は3035件で、被害に遭った18歳未満の児童は1487人、その8割を中高生が占めています。被害状況としては、自撮りの裸画像をSNSなどで送信させられる事例が4割、SNSをきっかけとして犯罪被害に遭った児童や誘拐などの重要犯罪の被害児童も増加傾向となっているそうです。

さらに、スマホ決済・キャッシュレス化が一層進む状況ですので、お金の使い方についても今以上に子どもに考えさせなければなりません。

こういった状況を考えると、手放して子どもにスマートフォンを使わせるのは危険です。親としては、我が子を被害に遭わせたくない、トラブルに巻き込ませたくないのは当たり前です。しかし、今後さらにスマートフォンはなくてはならない必需品となります。

したがって、子どもが初めて自転車に乗るときに、危なっかしいハンドル操作にヒヤヒヤしながら練習に付き合い、交通事故に遭わないようにいろいろと子どもに安全について話をしたように、スマホについても家庭内でしっかりとした話し合いが必要ではないでしょうか。

今年度は、多くの地域で夏祭りや盆おどりが実施され、補導委員の皆さまには特別補導を実施していただきました。感染対策だけでなく、熱中症への対応もしなければならないような状況でしたが、多くの方に参加していただきありがとうございました。

◆＜夏季特別補導＞

夏休み特別補導をイオンモール各務原にて行いました。14名が集って下さいましたので2班に分かれて入店し、東側からと西側から巡回しました。3Fモーリーファンタジーでは親子連れでゲームをしていた方に声かけを行いました。特に問題はなし。フードコートの外側喫煙スペースに5名の男子若者が喫煙していましたので挨拶をしましたが、問題なし。その他を巡回しても、お客様の数も少なくいつもの混雑ではなかった。外は時おり降る強い雨のため、目視のみとしましたが、問題はありませんでした。久しぶりの夜間補導、皆様に感謝です。

◆＜夏季特別補導＞

今回の雄飛ヶ丘夏祭りは、4年ぶりの通常開催で、大勢の人が来場されて盛況でした。会場では、自治会主催の屋台で、桜丘中ふれこみ隊の多くの生徒が、生き生きと手伝う姿に感動しました。多くが家族連れの参加で問題ありませんでした。同時に近くの公園を巡回し、遊んでいた生徒に早く帰るように声をかけた。残念ながら雷雨接近が予想され、予定より早く終了した為に特別巡回も終了しました。



◆最高気温38度の猛暑日でした。ブックオフでは、多くの大人が本を立ち読みする姿を見ました。三井池公園では、2組4名が釣りを楽しんでいたため、釣り禁止を伝えて帰宅を促しました。1組は高校生、もう1組は大人20代と思われそうですが、「以前は釣り可能でしたよね」と質問され、数年前から釣り禁止となっており、立て看板が設置されていることも説明しました。



◆中学生2人、小学生2人がいたため声をかけた。中学生2人はノーヘルで自転車に乗っていたため注意をした。また、雨が降っていたため安全面を考えて家に帰るように声をかけた。小学生2人のうち1人はノーヘルだったためその児童にも注意をした。

最近、小中グラウンドにゴミが散乱している。いろいろな方がグラウンドを自由に使用するため、誰が捨てたものかはわからない。

◆坂祝バイパスの地下道は誰もいませんでしたが、タバコの吸殻が数本、コーヒのペットボトル缶などのゴミがいくつか捨てられていました。補導委員で回収しました。スケートボードをした痕跡はありませんでした。



◆バイパス下のトンネル内は、前日の中学生ふれコミ隊の活動で、ゴミがなくきれいでした。ただし、ボーダーが残っていた三角コーンがありました。散歩中の方によりますと、最近は見かけなくなったとのことでした。

◆木曾川河畔巡回時、少年用自転車が4台ファミリーマート宝積寺店南の木曾川堤防遊歩道上に置かれてあったため付近を巡回したところ、少し上流右岸の岩場で中学生4名が楽しそうに遊んでいたため、雨上がりでもあり川の流れに注意し入らないよう声かけしました。中学生は笑顔で元気に応え承知してくれたので安心し、気を付けて帰よう話しました。

JR 鶴沼駅の白ポストには若干のゴミあり、相変わらずゴミ箱として利用されているのは残念に思いました。

◆ゲームセンターアピナの店員の方から、「5時で小中学生は帰らせている。中には抵抗をする子もいるが、今のところ順調。できれば補導巡回は5時前に来てもらいたい。」とお話を聞いた。

↳「17時をはさんだ時間に巡回してもらえば、店の様子も分かるし、店外へ出て駐車場に残る子どもたちにも補導委員さん方が声をかけやすいと思うから。」とのことでした。

◆公園はこの暑さのせいか、赤星第一公園に女の子が2人いただけであとの公園には誰もいませんでした。自転車がありましたが、ちゃんとヘルメットも置いてあり、特に問題はありませんでした。

アピタサービスカウンターで補導日誌を書く際に、「夏休みも終わり、何か変わったことはありませんか？」とお伺いしたところ、「ありがとうございます、特に問題はありません。」と返答がありました。